

日本血栓止血学会 第3回教育セミナー

大竹志門

日本大学医学部内科学系血液膠原病内科学分野



はじめに

2015年10月31日から2日間にわたり開催された、日本血栓止血学会第3回教育セミナーに参加した。2014年は大阪での開催であったが、第3回は千葉県船橋市にあるクロス・ウェーブ船橋での開催であった。

例年、募集開始から10日ほどで募集定員に達するほど、非常に高い人気のあるセミナーとして知られており、私も応募開始当日に申し込みを済ませ、数カ月前から開催を心待ちにしていた。

なかには大きなスーツケースとともに会場に入る遠方からの参加者も多く、涼しく秋らしい陽気とは裏腹に大変な熱気に溢れていた。

私は5年目での参加であったが、面識のある同級生も何名か参加しており、後期研修医にあたる学年の参加者が多いように感じた。

それでも、初期研修1年目の先生から10年目超の先生まで幅広い参加者があり、セミナーを受けるうちに学年の垣根を超えた交流ができた。



セミナーの内容について

開催直後に「血栓止血学オーバービュー」と題された参加者全員に向けた講義があり、血栓止血学の基礎部分についての概説がなされた。あやふやな知識としてしか頭に残っていなかった基礎知識がブラッシュアップされ、このオーバービューによりその後の各セッションでの理解も深まった。

引き続きアイスブレイクとして、“自分の乗った宇宙船が月で不時着した際、母船に戻り生存するのに必要な物品のランク付けをせよ”とのテーマでグループに分かれての討論が行われた。

このアイスブレイク中に行った自己紹介では、血栓止血領域に対する苦手意識を共有することができた一方で、日常臨床において同領域の知識がいかに重要であるか皆が痛感していることも知ることができた。

これ以降はランチョンセミナー以外のほとんどのセッションが、7名程度の小グループに分かれたワークショップ形式で行われた。実際のセミナーの様子は写真に示し